

3-(6) 京都ノートルダム女子大学 3つの方針

本学では以下のとおり、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を定めている。また、これらの方針のもと、主体的に学び、研究を深める意欲のある入学者を受け入れるために、次のとおり全学および各学部学科において入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）を設定している。

全学共通部分（学則第1条…「深く専門の学芸を教授研究」「カトリック精神および日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成」）

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	【編成方針】 ・キリスト教精神に基づいた「常識」と「良識」を有し、自立した女性として人生を切り開くための知識を身につけるためのベースとなる科目を「カトリック教育」に配置する。 ・自立した女性として人生を切り開くための知識を身につける科目を「自己の形成」に配置する。 【実施方針】 ・キリスト教精神の基礎を学ぶ科目を全学必修として行い、多角的な視野からキリスト教精神を学ぶ科目を選択必修として行う。 ・アクティブラーニングを積極的に取り入れ、主体的に学ぶ内容の授業を行う。	【期待する能力】 本学の建学の理念であるキリスト教精神に触れ、理解しようとする。他者や社会に奉仕する中で自己の人格を高めようとする。 【選考方法】 自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、面接
人間やその生活、社会、自然などについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	【編成方針】 ・幅広い知識と教養、新しい事柄を理解する力を身につけられる科目を配置する。 ・多様な教養科目群に「人間と文化」「人間と社会」「人間と自然」「人間と情報」「教育の基礎」という区分を設けて科目を配置する。 【実施方針】 ・生活、社会、自然、情報、教育等に関する幅広い知識と教養を身につけるとともに、理解を深化させることを目指し、自己の問題として認識できるような授業を展開する。	【期待する能力】 高等学校における学習内容を基礎として、各専門分野に資する知識と理解の土台がある。 【選考方法】 自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート、学力試験、口頭試問、資格検定
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	【編成の方針】 ・研究論文執筆をにらんだアカデミックライティング科目を「自己の形成」に配置する。 ・段階的に英語および他の言語について学べる科目を「外国語」に配置する。 【実施の方針】 ・レベルや目的別に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。	【期待する能力】 高等学校卒業程度の国語力をもち、英語などの外国語で読み、書き、聞く、話す意欲がある。 【選考方法】 自己記入書(志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問、資格検定、英作文
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	【編成の方針】 ・適切な情報処理のため、その考え方の基礎から応用、発展までの科目を「人間と情報」に配置する。 ・主体的に批判的・論理的な思考を展開でき、課題に対し問題解決に向かう提案ができる力を身につけられる科目を配置する。 【実施の方針】 ・情報処理の基礎能力を身につけるための科目を全学必修とし、実践的に学んだうえで、これからの社会に必要な情報に関する知識などを身につける教育を行う。 ・主体的に批判的・論理的な思考を展開でき、課題に対し問題解決に向かう提案ができる授業を行う。	【期待する能力】 課題について粘り強く考えようとし、広い視野をもって、自らの考えを柔軟に評価・修正できる。 【選考方法】 自己記入書(志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	【編成の方針】 ・「自己の形成」「カトリック教育」を中心に、他者との関係の中で自立した女性として生きていく態度を身につけるための科目を配置する。 【実施の方針】 ・自己の形成、キャリア教育など、アクティブラーニングによる教育を行う。 ・他者を尊重し、対話などコミュニケーションを重視した参加型の授業を行う。	【期待する能力】 人と協力してともに問題解決しようとする意欲をもち、集団での活動経験(部活動、課外活動、ボランティアなど)を活かし、様々な学習に能動的に参加できる。 【選考方法】 自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、面接
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	総合的な学習経験と思考力	DP6. 創造・発信力	【編成の方針】 ・自らの学修成果をまとめ、発信することができるための基礎を身につける科目を配置する。 【実施の方針】 ・アクティブラーニングを取り入れた科目において、主体的に取り組む授業を行う。	【期待する能力】 自らが学習したことを他者に明確に説明しようとし、さらに学習を通じて新たなアイデアやものを創り出そうとする。 【選考方法】 自己記入書(志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	【編成方針】 - キリスト教精神に基づいたホスピタリティを養うための専門関連科目を1、2年次に渡り配置する。 - 自立した女性として、国際社会に貢献できる資質を身につけるために、専門基礎科目に「英語キャリア戦略」を配置する。 - 同じく、専門基幹科目からは「英語英文学基礎演習」を1年次に配置する。 【実施方針】 1年次においてキリスト教精神に関する基礎的な学修を行う。 - 国際社会のあり方と女性の生き方を関連付けて理解し、それらを自己の問題として認識できるよう授業を行う。	【期待する能力】 英語という言葉に関心があり、同時に英語圏の文化、歴史、社会、コミュニケーションに幅広く関心を持っている。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	【編成方針】 - 英語圏の文化及び言語・コミュニケーション、英語教育についての多様な側面をバランス良く学び、文化、社会、言語についての幅広い知識と教養を学修できるよう科目を配置する。 【実施方針】 - 専門基幹科目から英語圏文学、言語、コミュニケーション各概論科目を1年次に設け、各専門分野に関する基礎知識の獲得を目指す。 - 専門講読、研究方法論を2年次に配置し、英語英文学演習（ゼミ）に向けて、各専門における研究のあり方を学ぶ。 - 教育に関する基礎知識を獲得する機会を提供する。	【期待する能力】 英語圏の文化や文学に関心があり、高校卒業程度の教科書記載内容の知識を持っている。 【選考方法】 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、学力試験、レポート
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	【編成方針】 - 英語を媒介としたコミュニケーション力をはぐくむために、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野に関するテーマを英語で学習するCLIL（内容言語統合型学習）に基づく専門基礎科目を設定する。 - 英語圏文学、言語、コミュニケーション各専門分野における書き言葉を使いこなす英語力を伸ばすために、1～3年次に必修科目として配置する。 - 英語に関するより専門的・実践的な学びの機会を提供するために、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野における専門展開科目を、2、3年次中心に設定する。 【実施方針】 - レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。 - グローバル社会へ対応すべく、議論や発表の場において、英語を自分の言葉として運用できる力を養成する。	【期待する能力】 高校卒業程度の英語力を持ち、読む、書く、話す、聞く、の英語における4分野の向上に努めることができる。 【選考方法】 面接、調査書、学力試験、資格検定、英作文
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	【編成方針】 - 基礎的な情報収集・分析能力および論理的思考力をはぐくむために、共通教育科目「人間と情報」に選択必修科目を設定する。 - 現代社会における課題に論理的思考力をもって対応できる力を身に付けるため、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野における専門展開科目を2、3年次中心に配置する。 - より高度で専門的な論理的思考力と課題解決力を身につけるための科目を専門教育科目3・4年次に必修科目として配置する。 【実施方針】 - 主体的に分析・問題解決に向かう機会となるよう、グループワークやプレゼンテーション等を積極的に取り入れる。	【期待する能力】 英語という言葉・英語圏の文化・社会に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探究するための情報収集力を一定レベル習得している。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、学力試験、レポート
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	【編成方針】 - 英語を媒介としたコミュニケーション（相互作用）できる言語能力を身につけている。 - 上記を実現するために、異文化理解に基づいたコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。 【実施方針】 - レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。 「グローバル・リベラルアーツ」「英語英文学」2領域における専門教育との関連性・系統性に留意して授業を行う。	【期待する能力】 高校卒業程度の英語力を持ち、読む、書く、話す、聞く、の英語における4分野の向上に努めることができる。 【選考方法】 面接、調査書、学力試験、資格検定、英作文
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	総合的な学習経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	【編成方針】 - 基礎的な情報収集・分析能力および論理的思考力をはぐくむために、共通教育科目「人間と情報」に選択必修科目を設定する。 - 現代社会における課題に論理的思考力をもって対応できる力を身に付けるため、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野における専門展開科目を2、3年次中心に配置する。 - より高度で専門的な論理的思考力と課題解決力を身につけるための科目を専門教育科目3・4年次に必修科目として配置する。 【実施方針】 - 主体的に分析・問題解決に向かう機会を与えるため、グループワークやプレゼンテーション等を積極的に取り入れる。	【期待する能力】 英語という言葉・英語圏の文化・社会に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探究するための情報収集力を一定レベル習得している。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、学力試験、レポート

国際言語文化学部 国際日本文化学科

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を備えている。 ・自立した女性として社会に貢献できる資質を身につけている。 【編成方針】 ・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性や奉仕の精神をはぐくむために、共通教育科目「カトリック教育」に必修科目および選択必修科目を設定する。 ・同じく、キリスト教と哲学・音楽などを関連させた科目を専門教育科目に配置する。 ・自立した女性として社会に貢献できる資質を身につけるために、共通教育科目「ライフキャリア形成」に選択必修科目を設定する。 【実施方針】 ・1年次においてキリスト教精神に関する基礎的な学修を行う。 ・現代社会のあり方と女性の生き方を関連付けて理解し、それらを自己の問題として認識できるよう授業を行う。	〔期待する能力〕 世界の諸国・地域や日本の文化・言語について学ぶ意欲があり、他者とのコミュニケーションや社会との関わりの中で、自己の人格を高めることに興味・関心があり、努力しようとしている。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、レポート、面接
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	・「日本語日本文化」「国際文化」の2領域にわたる基礎知識、国際的な視野と教養をもっている。 ・「日本語日本文化」および「国際文化」に関する事象について考察するために必要な基礎的な技能を身につけている。 【編成方針】 ・専門教育科目に「日本語日本文化」と「国際文化」の2領域を設定し、領域横断的に学修できるよう科目を配置する。 ・領域間・科目間の関連性・系統性に留意して科目を配置する。 【実施方針】 ・学生の興味関心に応じた学びの機会を提供する。 ・各領域に関する基礎知識の確かな獲得を目指す。 ・獲得した知識の理解を深め、自分の考察に生かせるよう指導を行う。	〔期待する能力〕 世界の諸国・地域や日本、およびその文化や言語について関心を持ち、高等学校卒業程度の教科書記載内容の知識を持っている。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	・多様化、複雑化する現代社会が抱える諸課題に人文学的観点から対応する態度をもっている。 ・上記を実現するために必要な日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。 【編成方針】 ・基礎的な英語力ををはぐくむために、共通教育科目「外国語」に必修科目を設定する。 ・英語に関するより専門的・実践的な学びや、英語以外の言語についての学びの機会を提供するために、共通教育科目「外国語」に選択必修科目を設定する。 ・書き言葉・話し言葉の両面を使いこなす国語力を伸ばすための科目を専門教育科目に配置する。 ・社会人としてのプレゼンテーション能力を鍛えるための科目を専門教育科目に配置する。 【実施方針】 ・レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。 ・獲得した国語力・プレゼンテーション能力を、様々な場面で生かすように指導する。	〔期待する能力〕 高等学校卒業程度の国語力を持ち、書き言葉、話し言葉の両面でコミュニケーション力に磨きをかけることに関心を持っている。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	・現代社会のさまざまな課題について人文学的観点から考察できる。 ・上記の課題解決に貢献するために不可欠な情報を収集・分析する能力と論理的な思考力を身につけている。 【編成方針】 ・基礎的な情報収集・分析能力および論理的思考力ををはぐくむために、共通教育科目「人間と情報」に選択必修科目を設定する。 ・同じく、関連科目を専門教育科目1・2年次に必修科目として配置する。 ・より高度で専門的な論理的思考力と課題解決力を身につけるための科目を専門教育科目3・4年次に必修科目として配置する。 【実施方針】 ・グループワークやフィールドワーク等を積極的に取り入れる。	〔期待する能力〕 世界の諸国・地域や日本の文化・言語に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探求するための文献調査や情報検索の方法について、ある程度習得している。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	・獲得したコミュニケーション能力を土台に、さまざまな他者と共生・協働する力を身につけている。 【編成方針】 ・共生・協働の意義を理解するために、国際関係や多文化理解等に関する科目を専門教育科目に配置する。 ・日本語を通じたコミュニケーション能力を体系的に向上させるための科目を専門教育科目「基礎」に必修科目として配置する。 【実施方針】 ・コミュニケーション能力をはぐくむ授業ではグループワークを重視する。	〔期待する能力〕 他者との基本的なコミュニケーション力があり、他者と共生・協働して、社会への貢献を行うことに関心がある。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、面接
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学修経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	・自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、その成果をまとめ、発信することができる。 【編成方針】 自ら「問い」を立て、探究する能力を身につけるための科目を専門教育科目1～4年次に必修科目として体系的に配置する。 【実施方針】 ・興味関心や意欲を大切にし、主体的に課題に取り組む授業を行う。	〔期待する能力〕 世界や日本の文化・言語に関連して、ユニークな発想による企画や研究・制作を行い、社会に発信することに関心がある。 〔選考方法〕 調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、レポート、面接

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	・キリスト教精神に基づいて豊かな人間性と奉仕の精神を養い、人の生活を生活環境の側面からとらえている。 ・よりよい暮らしの創造や地域社会の実現に貢献できる態度を身につけている。	【期待する能力】 社会に貢献できるよう自分を高めたいと考え、自分の生活や人生を主体的に築いていく意欲をもっている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	・衣食住、家族・生活経営、福祉に関する幅広い知識を身につけている。 ・人の生活を生活環境の側面からとらえ、暮らしにかかわる多様な課題を理解できる力を身につけている。	【期待する能力】 入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、家族や個人の暮らしに必要な衣食住、家族・生活経営、福祉について、自ら積極的に学び知識を身につけたいと考えている。 【選考方法】 学力試験、レポート、調査書
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	・多様化、複雑化する現代社会が抱える諸問題を暮らしの視点から解決へと導くために、人の生活を生活環境の側面からとらえる。 ・相手の立場を考えながら、場に応じたコミュニケーションができる力を身につけている。	【期待する能力】 学んだ知識や技術を用い、言語を介して積極的に他者と関わるということに関心がある。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	・現代社会のさまざまな課題に対して、人の生活を生活環境の側面からとらえる。 ・生活のあり方や生活における課題の本質を探り、より良い方向を見出す力を身につける。 ・衣食住、家族・生活経営、福祉に関する専門的な知識と技術を自他の生活課題を解決するために活用できる。	【期待する能力】 身近な生活環境に関心を持ち、生活をより良くするために、身につけた知識や技能を役立てる力を養いたいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	・人の生活を生活環境の側面からとらえ、一人ひとりの人間をかけがえのない存在としてとらえる。 ・他者に共感でき、ともに考え、よりよい暮らしに必要なものを協働して創り出す力を身につけている。	【期待する能力】 周りと協力しながら、相手の立場に立って物事を考えようと努力し、行動したいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学修経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	・人の生活を生活環境の側面からとらえ、地域における生活課題を解決するための情報収集ができる。 ・新たな価値の創造に取り組み、その成果を適切に発信する力を身につけている。	【期待する能力】 より良い生活の創造に関わり、自分の考えを発信したいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート

現代人間学部 心理学科

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を備えている。 ・社会の安寧と人々の幸福の実現に貢献できる態度を身につけている。 【編成の方針】 ・共通教育科目におけるキリスト教精神や女性の生き方についての学びに加えて、現代社会における豊かな人間性と人々の幸福の実現に貢献できる力を身につけられる科目を配置する。 【実施の方針】 ・心理学基礎演習IIにおいて、アカデミックスキルに加えて、心理学を生かした多様性理解や社会貢献を学ぶ。また、上級生をモデルとして正課・課外問わず、ボランティア活動や地域連携・貢献の志向や主体的態度、キャリア意識を養う。	〔期待する能力〕 豊かな人間性、および、自己成長への意欲と他者の理解や奉仕の精神を備えている。 〔選考方法〕 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	・心理学およびその関連領域についての基礎知識を身につけている。 ・心理学の基礎知識を基にさらに新しい事柄を理解する力を身につけている。 【編成の方針】 ・専門展開科目として、「基礎・発達心理学」「社会・産業心理学」「臨床心理学」の3領域の知識・理解に関する科目を配置する。 ・専門関連科目として、現代社会におけるビジネスやメディア、福祉の知識・理解に関する科目を配置する。 【実施の方針】 ・心理学の主要領域に関する基礎知識を身につけるとともに、現代社会のニーズに幅広く視野を広げながら、心理学およびその関連領域について学ぶ。	〔期待する能力〕 心理学およびその関連領域について知識や技能を習得し、科学的分析と深い人間理解に基づいて、現代社会の要請に応じた実践的問題解決能力や産業界で活躍できる力を身につけたいと考えている。 〔選考方法〕 調査書、学力試験、レポート
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	・現代社会の諸問題を解決へと導くために必要な日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと運用能力を身につけている。 ・多様化・複雑化する現代社会が抱える諸問題について、心理学的視点から考察し、人々との対話を通して解決することができる。 【編成の方針】 ・共通教育科目で学ぶ、世界の様々な言語の学修に加え、専門基礎科目に、心理学専門の英語と日本語の理解・活用に関係する科目を配置する。 【実施の方針】 ・共通教育において、多様な言語でコミュニケーションが行える語学力を修得する。 ・専門科目において、心理学的視点から社会的課題を考察・解決し、それを発信する言語活用力を養う。	〔期待する能力〕 さまざまな文化背景をもつ人々や社会に対して、純粋な関心と偏見なく理解する姿勢を持ち、母語や外国語によるコミュニケーションを通じた心の理解への意欲を持っている。 〔選考方法〕 調査書、資格検定、学力試験、レポート、面接
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	・人間の心と行動に関する情報を収集・分析する科学的技能と論理的思考力を身につけている。 ・現代社会のさまざまな課題に対して、問題解決に向かう提案ができる。 【編成の方針】 ・専門基礎科目に、心理学研究法、心理統計、心理実験、心理テストなど心理学的な思考・解決力やスキルを身につけるための科目を配置する。 【実施の方針】 ・人間の心と行動に関する情報を適切に収集・分析する力を身につける。 ・現代社会のさまざまな課題に対して、論理的・批判的な思考を展開し、課題解決できる力を養う。	〔期待する能力〕 人間の思考や行動、人間関係や社会構造に興味を持ち、心理学への学習意欲や問題探求心に優れ、様々な問題や事象について論理的に考え、解決策を追求することに熱意がある。 〔選考方法〕 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、学力試験、レポート、調査書
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	・一人ひとりの人間をかけがえない存在として尊び、社会で不利な立場に置かれた人々を含むさまざまな人々とコミュニケーションを図る力を身につけている。 ・他者と共生・協働することができる実践力を身につけている。 【編成の方針】 ・心理カウンセリングや社会・ビジネス心理の観点から、人々との共生・協働のありかたについて学ぶ科目を、専門展開科目および専門関連科目に配置する。 【実施の方針】 ・社会で不利な立場におかれた人々を含むさまざまな人々の心理について理解を深める。 ・対話やコミュニケーションを重視した参加型の授業を通して、多様な人々と共生・協働する力を養う。	〔期待する能力〕 人の個性を理解・尊重し、ともに成長しともに生活する姿勢を備え、現代社会に生きる人々が抱える心理的諸問題の解決と支援に貢献したいと考えている。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、面接、調査書
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	総合的な学修経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	・専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、得られた分析結果から新たな価値を創造する力を有している。 ・心の諸問題に対して適切に判断し対処する力を身につけている。 【編成の方針】 ・心理学の学習成果をまとめ、創造的に発信する力を育てる、心理学演習、卒業研究等の科目を配置する。 ・実践的に自らの学習成果を社会活動に位置づける科目として、心理カウンセリングや社会・ビジネスに関する演習・実習科目を配置する。 【実施の方針】 ・卒業研究を最終目標とし、主体的に研究や課題に取り組み、学習成果を論理的に表現する力を身につける。	〔期待する能力〕 心理学の学びを通して、現代社会における諸問題について、新たな発想での気づきや提案をしていく意欲がある。 〔選考方法〕 面接、調査書、学力試験、レポート

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を有している。 ・教育者及び保育者として、職業的役割を自覚し、こどもの教育に貢献できる態度を身につけている。	【期待する能力】 教育や保育に携わる人間として、社会に貢献できるよう関連する知識や技能を習得するのみならず、良好な人間関係を築こうとする。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	・教育や保育、およびその関連領域についての基礎知識を有している。 ・身につけた基礎知識を基に新しい教育や保育に関する事柄を理解する力を身につけている。	【期待する能力】 入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、多くの学問や人間と関わり、積極的に他者を理解したいと考えている。 【選考方法】 学力試験、調査書、レポート
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	・教育や保育領域のグローバル化、また、日本語を母国語としない子どもや家庭に対応することの重要性を理解している。 ・日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。	【期待する能力】 学んだ知識や技術を用い、一人ひとりの言語力の相違に気づき、一人ひとりの個性に応じた対応をしようとする。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、レポート、資格検定、学力試験
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	・教育や保育に関するさまざまな課題に対して、情報を収集・分析する科学的技能と論理的思考力を身につけている。	【期待する能力】 自分の考えだけでなく、人の考えを聞き、また深く考え、問題があっても解決しようとする力がある。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、調査書、学力試験
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	・教育や保育場面で関わる全ての人たちと、よりよいこどもの成長を支えるために、共生・協働する力を身につけている。	【期待する能力】 学習活動に参加し、共生し協働しながら困難に立ち向かうことで何かを成し遂げようとする。 【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	・教育や保育に関する自らの疑問や課題に基づき研究に取り組み、客観的な分析を通して、教育や保育の諸問題について、適切に判断する力を身につけている。	【期待する能力】 様々な想像をし、意見を交換することで、更に想像力を発揮し、自分の考えを発信したいと考えている。 【選考方法】 面接、レポート、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書

社会情報学環

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)		ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を有している。 ・情報を文化・生活環境・心理・教育の側面からとらえ、よりよい社会の構築に向けて考え、行動することができる。	【編成方針】 ・共通教育科目におけるキリスト教精神や女性の生き方についての学びに加えて、1・2年次では大学で必要な学びの基礎を養成する演習系の専門基礎科目を配置する。 【実施方針】 ・1・2年次では大学で必要な学びの基礎および情報の活用に関する基礎的な学びやスキルを実践的に修得する。 ・自己の描くキャリアを具体化させる知識および態度を養成する。	【期待する能力】 社会に貢献できるよう自分を高めたいと考え、情報を活用し自分の生活や人生を主体的に築いていく意欲をもっている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	・社会情報・情報科学・データサイエンス・AI(人工知能)および4学科の関連領域に関する幅広い知識を身につけている。 ・適切な情報を収集し、確かな手続きを踏まえて分析した情報をもとに、暮らしや社会の貢献に関わる多様な課題を理解できる力を身につけている。	【編成方針】 ・1年次では、「社会情報概論」「情報の科学と倫理」をはじめ、社会情報・データサイエンスについて総体的に学ぶ社会情報基礎科目を中心に配置する。 ・2年次以降は、段階的に専門的知識が修得できるよう社会情報展開科目等の科目群を配置する。 【実施方針】 ・1年次では、基礎的な社会情報およびデータサイエンスに関する知識を修得し理解を深める。 ・2年次以降は、社会情報に隣接する文化・生活環境・心理・教育等の幅広い知識と教養を養成する。	【期待する能力】 入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、情報や数理を、自ら積極的に学び知識を身につけたいと考えている。 【選考方法】 学力試験、レポート、調査書
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	・現代社会が抱える諸問題を社会情情的視野から、人々との対話に基づいて解決することができる。 ・現代社会の諸問題を解決するため、日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。	【編成方針】 ・共通教育科目では、多言語のコミュニケーションスキルや読み書き能力を養う科目を配置している。 ・専門科目においては、プレゼンテーションやスピーチに関する科目を配置し、他者に発信したり、コミュニケーションを行う素地を養成する科目を配置する。 【実施方針】 ・共通教育科目では、グローバル化の時代に対応すべく、多様な言語でコミュニケーションが行える語学力を修得する。 ・専門科目においては、他者に発信したり、コミュニケーションを行う能力やスキルを修得する。	【期待する能力】 基礎的な国語力・英語力を有し、学んだ知識や技術を用い、言語を介して積極的に他者と関わるといことに関心がある。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	・現代社会の諸課題を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、社会における生活のあり方やそのなかでの情報の扱い方の本質を探り、より良い方向を見出す力を身につける。 ・社会情報に加え、4学科に関する専門的な知識と技術も根拠として用い、自他の課題を解決するために活用できる。	【編成方針】 ・1・2年次では大学で必要な学びの基礎を養成する演習科目の他、社会情報に関する基礎科目を配置する。 ・1・2年次で修得した社会情報の基礎科目を基盤とし、さらに応用的な技術や技能を身につけるための科目を実践科目や展開科目に配置する。 【実施方針】 ・1・2年次では大学で必要な学びの基礎および情報の活用に関する基礎的な学びやスキルを実践的に修得する。 ・現代社会の多様な課題を見極め、問題を解決するための方策を論理的に思考する力を養う。	【期待する能力】 社会の情勢に関心を持ち、生活をより良くするために、身につけた知識や技能を活用し社会に貢献したいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	・社会の現状を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、一人ひとりの人間をかけがえのない存在として尊び、対話を中心に、他者に共感できる力を身につけている。 ・多様な課題を抱える人に寄り添う態度を身につけ、他者と協働しながら関わる支援者として社会・地域・コミュニティの諸問題の解決に貢献できる技術をもっている。	【編成方針】 ・1年次の基礎的な学びをさらに発展させ、専門への学びへと繋げるため、2年次に「社会情報発展演習Ⅰ・Ⅱ」を配置する。 ・人との関わり方や社会において様々な課題を抱える人々について理解し、寄り添う態度を身に付けるため、心理・社会系分野の科目を展開科目として配置する。 【実施方針】 ・1・2年次の基礎的な学びをさらに発展させるとともに、専門への学びを深め、多様な人と共生・協働する力を養う。 ・社会情報やデータサイエンスを活用し、社会の現状や多様な方意を抱える人の問題点や解決方法を身に付け、問題解決しようとする力を身に付ける。	【期待する能力】 対話やコミュニケーションを軸に周り協力しながら、相手の立場に立って物事を考えようと努力し、行動したいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール) 調査書、レポート
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	・社会の現状を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、総合的な学修経験を活かし、課題を解決するために必要に応じて新たな価値の創造に取り組み、その成果を適切に発信する力を身につける。 ・諸問題の解決に向けて主体的に行動できる態度・能力・技術を社会で発揮できる。	【編成方針】 ・共通教育科目や専門教育科目で培った知識やスキルを実際に活用する力を発揮する「社会情報フィールド研修」や「社会情報演習」「インターンシップ」等の演習科目を配置する。 ・専門知識やスキルをもとに、学習成果を創造的に発信することを目的とした「卒業研究」の科目を配置する。 【実施方針】 ・社会情報・データサイエンスおよび隣接する4学科の専門的かつ実践的な学修経験をもとに、主体的に問題解決に向けて取り組む力を身に付ける。 ・専門知識や実践的な学習経験を新たな提案や作品制作の形で創造的にまとめ、社会に発信する力を身に付ける。	【期待する能力】 より良い情報社会の創造に関わり、自分の考えを発信したいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート

女性キャリアデザイン学環

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	【編成方針】 - キリスト教精神に基づいた豊かな人間性や奉仕の精神をはぐくむために、共通教育科目「カトリック教育」に必修科目および選択必修科目を設定する。 - ライフキャリアおよびビジネスキャリアを設計・形成できる力を涵養するために、女性キャリアデザイン連携科目を系統的に編成する。 【実施方針】 1年次においてキリスト教精神に関する基礎的な学修を行う。 - 連携科目においてはライフキャリア・ビジネスキャリア形成力の涵養を意識しつつ授業を行い、主体的に学び続ける力の基礎を築く。	【期待する能力】 ひとりの人間として自立しつつ他者と共に生きていくことに関心があり、自らの生活や人生を主体的に築いていこうという意欲を持っている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	【編成方針】 ライフキャリアおよびビジネスキャリア形成に関する基礎知識を獲得するための概論科目を配置する。 - 広い視点からライフキャリアおよびビジネスキャリア形成について理解できるように、幅広い分野の関連科目を配置する。 【実施方針】 - ライフキャリアおよびビジネスキャリアに関する基礎知識の確かな獲得を目指す。	【期待する能力】 入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、キャリアデザインに関わる知識について積極的に学びたいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、学力試験、レポート、調査書
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	【編成方針】 - 日本語による実践的なコミュニケーションスキルを涵養するための科目を配置する。 - 外国語による基礎的なコミュニケーションスキルを涵養するために、共通教育科目に「外国語」を設定する。 【実施方針】 - レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。	【期待する能力】 基礎的な国語力・英語力を有し、言語を介して自分を表現することや他者を理解することに関心がある。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、学力試験、レポート、調査書、資格検定
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	【編成方針】 - 実践的な情報収集・分析・活用能力や思考力、判断力、企画力を涵養するための科目を配置する。 【実施方針】 - 実践的経験を通して上記の力を獲得できるように、グループワークやフィールドワーク等を積極的に取り入れる。	【期待する能力】 身につけた知識や技能を実際に活用することに関心があり、それを通じて自ら成長していきたいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	【編成方針】 - 共生・協働の意義を理解するための科目を配置する。 - リーダーシップ／フォロワーシップおよびホスピタリティを涵養するための科目を配置する。 - 実践的経験を通して共生力・協働力を涵養するための科目を配置する。 【実施方針】 - 上記の力を実際に発揮する機会を授業内で積極的に設ける。	【期待する能力】 対話を通じて他者を理解し自分を理解してもらおうという姿勢があり、周りや協力しながら自分の役割を果たしていきたいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	総合的な学修経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	【編成方針】 - 自らの学修経験を省察し、次の学びや実践に生かす力をもっている。 - 自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、その成果をまとめ、発信することができる。 【実施方針】 - 大学内・外における多様な実践的な学修経験と省察の機会を提供するための科目を配置する。 - 自ら「問い」を立て、探究する能力を涵養するための科目を女性キャリアデザイン連携科目1～4年次に必修科目として体系的に配置する。 - 学修経験と省察のサイクルを通じて持続的な成長を後押しできるよう指導する。 - 興味関心や意欲を大切に、主体的に課題に取り組む授業を行う。	【期待する能力】 さまざまな場で実践的な学びを体験したいという意欲があり、そこで得た経験を自らのキャリアデザインに活かしていきたいと考えている。 【選考方法】 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について